

III 業績

1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告第1号(2017)に掲載した事項

内 容	提 供 者 名	所 属
瀬戸内海東部沿岸域における硝酸塩センサー測定値と比色分析による硝酸態窒素濃度測定値の比較	原田和弘・宮原一隆	水産環境部
兵庫県紀伊水道海域に標識放流したオニオコゼの漁獲加入と再捕状況	五利江重昭	水産環境部

2 外部に発表した事項

(1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
H29. 5	Cell size reduction and restoration of the diatom <i>Eucampia zodiacus</i> in culture	Plankton and Benthos Research 12(2), 139-142	西川哲也	水産環境部
H29. 11	Occurrence and potential prediction of the giant jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> off Hyogo Prefecture, southwestern Sea of Japan, during 2006-2015	Regional Studies in Marine Science 16, 181-187	西川哲也・宮原一隆・大谷徹也・千手智晴	水産環境部ほか
H29. 8	河川水および港湾域からの栄養塩供給が加古川河口周辺海域のノリ漁場に与える影響の検証	水産海洋研究 81(3), 222-229.	原田和弘・宮原一隆	水産環境部
H30. 2	港湾水および下水処理放流水に含まれる溶存態無機窒素が播磨灘北東部沿岸のノリ漁場に与える影響	水産海洋研究 82(1), 26-35.	原田和弘・阿保勝之・川崎周作・竹迫史裕・宮原一隆	水産環境部ほか
H29. 6	Morphological and genetic differentiation of cultivated <i>Undaria pinnatifida</i> (Laminariales, Phaeophyta)	Journal of Applied Phycology 29(3), 1473-1482.	二羽恭介・小増山篤志・伏屋玲子・坂本崇	水産増殖部ほか

(2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
H29. 10	瀬戸内海東部海域におけるマアナゴの生態について	第7回瀬戸内海水産フォーラム(広島)	五利江重昭	水産環境部
H30. 3	マアナゴ生活史研究の最前線と資源管理 稚魚期の生態	平成30年度日本水産学会春季大会シンポジウム	五利江重昭	水産環境部
H29. 11	貧栄養化の進行する播磨灘におけるクロロフィル <i>a</i> 濃度の時空間変化	2017年度水産海洋学会研究発表大会	宮原一隆・原田和弘・阿保勝之・松原賢・田所和明・安佛かおり・笠井亮秀	水産環境部ほか
H29. 9	日本海但馬沖ホタルイカ漁場におけるツノナシオキアミとニホンウミノミの分布	2017年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会	西川哲也・大谷徹也・松倉隆一	水産環境部ほか
H29. 9	地方自治体の水産関係研究機関におけるプランクトン研究	2017年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会 若手の会	西川哲也	水産環境部
H30. 3	播磨灘における海洋環境と植物プランクトンの長期変動解析	沿岸海洋シンポジウム 植物プランクトンの生理学と海洋環境〜Paul J. Harrison 博士を追悼して〜	西川哲也	水産環境部
H30. 3	播磨灘産イカナゴの夏眠期における肥満度の経年および月変化	平成30年度日本水産学会春季大会	西川哲也・中村行延・岡本繁好	水産環境部ほか

(3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H30. 3	播磨灘北東部ノリ養殖場における栄養塩管理 運転（下水処理施設）および大阪湾からの栄養 塩供給に関する実証試験	平成 29 年度漁場環境・ 生物多様性保全総合対 策事業のうち赤潮・貧酸 素水塊対策推進事業「漁 場生産力向上のための 漁場改善実証試験」成果 報告書	原田和弘・宮原一隆	水産環境部
H30. 3	臨海部の下水処理施設の栄養塩管理運転によ るノリ漁場への栄養塩供給	ノリ、ワカメ養殖場にお ける栄養塩供給技術実 証試験事例集	原田和弘・宮原一隆	水産環境部
H30. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック平成 29 年度浅海定線観測等 担当者会議議事録（抄）	原田和弘・宮原一隆	水産環境部
H30. 3	栄養塩類等の水質環境が低次生産生物に及ぼ す影響解明 海域の栄養塩環境が低次生産に 及ぼす影響解明 播磨灘における基礎生産簡 易測定技術の開発	平成 29 年度赤潮・貧酸 素水塊対策推進事業「瀬 戸内海等での有害赤潮 発生機構解明と予察・被 害防止等技術開発」報告 書	宮原一隆・原田和弘・ 阿保勝之・松原賢	水産環境部ほか
H29. 9	兵庫県内海における 2016 年および 2017 年の漁 況	第 48 回瀬戸内海東部カ タクチイワシ等漁況予 報会議報告	西川哲也	水産環境部
H30. 3	野生ノリの色素変異株作出に関する研究 II	平成 29 年度海苔養殖の 発展に資する長期的・基 礎的研究に関する助成 研究成果報告書（一般財 団法人海苔増殖振興会）	二羽恭介	水産増殖部
H29. 11	兵庫県におけるノリ養殖等の概況および試験 研究項目	平成 29 年度瀬戸内海ブ ロック水産業関係研究 開発推進会議・藻類情報 交換会	谷田圭亮	水産増殖部
H29. 9	直近のブリ漁況（兵庫県但馬）	第 57 回ブリ資源評価・ 予報技術連絡会議報告	鈴木雅巳	但馬水技

(4) 研究会（大会・研究会）等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 5	瀬戸内海の栄養塩問題	徳島県阿南市視察研修	反田 實	
H29. 6	大阪湾の環境とイカナゴ漁	朝日親と子の自然環境 教室	反田 實	
H29. 7	水産業と環境－イカナゴ、海苔はどうなる？－	神戸酒心館酒蔵文化道 場	反田 實	
H29. 9	豊かな瀬戸内海再生調査事業について	水産振興議員連盟 JF 組 合長懇談会	反田 實	
H29. 9	温暖化と水産業－瀬戸内海のイカナゴやノリ はどうなる？－	ひょうご講座	反田 實	
H29. 9	イカナゴ資源量と生産量の推定	豊かな瀬戸内海再生調 査事業検討会	反田 實	
H29. 10	大阪湾の環境とイカナゴ漁	朝日親と子の自然環境 教室	反田 實	
H29. 11	栄養塩環境と漁業	瀬戸内海環境保全トレ ーニングプログラム研 修	反田 實	

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 11	豊かな海づくりに向けた取り組みについて	瀬戸内海水産公益法人 連絡会議	反田 實	
H29. 11	豊かな海を取り戻す～海には何が必要か～	兵庫県漁連ステップア ップ研修	反田 實	
H29. 12	豊かな海づくりに向けた取り組みについて	瀬戸内海環境保全協会 賛助会員現地研修会	反田 實	
H30. 3	イカナゴシンコの生産量と動物プランクトン 量について イカナゴシンコの肥満度の長期変化について	豊かな瀬戸内海再生調 査事業検討会	反田 實	
H29. 8	マアナゴの話ーノレソレの来遊から産卵回 遊？までー	淡路地区漁業協同組合 青壮年部連合会研修会	五利江重昭	水産環境部
H29. 5	「鹿の瀬」地形の今昔 30 年	摂津播磨地区漁業協同 組合青壮年部連合会通 常総会	五利江重昭	水産環境部
H30. 1	「鹿ノ瀬」海域の漁場機能の再評価について (H29)	鹿ノ瀬会 理事及び代 表者会	五利江重昭	水産環境部
H29. 7	播磨灘の水質環境変化による漁業生産への影 響とその対策	大阪市立自然史博物館	原田和弘	水産環境部
H29. 7	夏季の播磨灘北西部の二枚貝養殖漁場におけ る水質環境特性（とくに溶存酸素量について）	兵庫県播磨灘カキ生産 者協議会	原田和弘	水産環境部
H29. 9	陸域からの栄養塩供給が沿岸域のノリ養殖に 与える影響（下水処理施設の栄養塩管理運転に よるノリ漁場への影響）	播磨灘流域別下水道整 備総合計画検討会議	原田和弘	水産環境部
H29. 11	臨海部の下水処理施設での栄養塩管理運転に 伴うノリ漁場への栄養塩供給効果	平成 29 年度瀬戸内海環 境保全トレーニングプ ログラム研修	原田和弘	水産環境部
H29. 5	最近の赤潮発生状況について	赤潮対策連絡会議幹事 会	宮原一隆	水産環境部
H29. 9	兵庫の海の生物の変化	スマスイ自然環境保全 助成シンポジウム「神戸 とその近郊の自然を考え る」	宮原一隆	水産環境部
H29. 12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	平成 29 年度漁場環境保 全関係研究開発推進会 議赤潮貝毒部会	宮原一隆	水産環境部
H30. 1	平成 29 年度ノリ漁期における <i>Eucampia</i> <i>zodiacus</i> の発生予察とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期 予測等情報交換会	宮原一隆	水産環境部
H30. 1	播磨灘におけるクロロフィル <i>a</i> 濃度の時空間 変化	平成 29 年度瀬戸内海栄 養塩環境研究会	宮原一隆	水産環境部
H30. 3	栄養塩類等の水質環境が低次生産生物に及ぼ す影響解明 海域の栄養塩環境が低次生産に 及ぼす影響解明 播磨灘における基礎生産簡 易測定技術の開発	平成 29 年度赤潮・貧酸 素水塊対策推進事業「瀬 戸内海等での有害赤潮 発生機構解明と予察・被 害防止等技術開発」結果 検討会	宮原一隆・原田和弘・ 阿保勝之・松原賢	水産環境部ほか
H29. 4	兵庫県内海における 2016 年および 2017 年の漁 況	第 48 回瀬戸内海東部カ タクチイワシ等漁況予 報会議報告	西川哲也	水産環境部
H29. 7	Phytoplankton dynamics off Tajima, southwestern Sea of Japan	中央水産研究所水産生 命情報研究センターセ ミナー「日本海における プランクトンの分類・生 態・分布」	西川哲也	水産環境部
H29. 7	兵庫県のイカナゴ漁業の現状と課題	広島大学水圏資源生物 学研究室とのイカナゴ 情報交換会	西川哲也	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 8	豊かな瀬戸内海再生調査事業の概要	平成 29 年度豊かな瀬戸内海の再生に係る連絡協議会	西川哲也	水産環境部
H29. 9	播磨灘西部および東部漁場における発生群	豊かな瀬戸内海再生調査事業 平成 29 年度第 1 回勉強会	西川哲也	水産環境部
H29. 10	豊かな瀬戸内海再生調査事業の概要について	平成 29 年度第 1 回豊かな海づくりに係る検討会	西川哲也	水産環境部
H29. 11	イカナゴ夏眠親魚の調査結果（2017 年、兵庫県）	イカナゴ瀬戸内海東部系群に係る平成 29 年度第 2 回情報交換会	西川哲也	水産環境部
H29. 11	平成 29 年イカナゴ夏眠親魚調査結果	大阪湾 3 地区船曳網会長説明会	西川哲也	水産環境部
H29. 11	平成 29 年イカナゴ夏眠親魚調査結果	播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会	西川哲也	水産環境部
H29. 12	夏眠期イカナゴの肥満度と水温	豊かな瀬戸内海再生調査事業 平成 29 年度第 2 回勉強会	西川哲也	水産環境部
H30. 1	今漁期のイカナゴ親魚調査結果について	古セ曳操業関係組合代表者会	西川哲也	水産環境部
H30. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	平成 30 年漁期平成 30 年大阪湾船曳役員合同会議	西川哲也	水産環境部
H30. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会	西川哲也	水産環境部
H30. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	西播船曳網漁業同業者会通常総会	西川哲也	水産環境部
H30. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	平成 30 年漁期いかなご船びき網漁業の操業に関する打合せ会議	西川哲也	水産環境部
H30. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	平成 30 年漁期第 1 回大阪湾 3 地区船曳役員合同会議	西川哲也	水産環境部
H30. 3	夏眠期のイカナゴの肥満度について	平成 29 年度豊かな瀬戸内海再生調査事業検討会	西川哲也	水産環境部
H29. 8	2017 年漁期兵庫県イカナゴ漁について	イカナゴ瀬戸内海東部系群に係る平成 29 年度第 1 回情報交換会	魚住香織	水産環境部
H30. 3	イカナゴ 2018 年漁期の状況につて	平成 29 年度兵庫県豊かな瀬戸内海再生調査事業検討会	魚住香織	水産環境部
H29. 10	平成 28 年 9 月～平成 29 年 8 月魚病発生状況	平成 29 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	中村行延	水産増殖部
H29. 10	ヒラメ種苗生産期に発生したビルナウイルス病	平成 29 年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	中村行延	水産増殖部
H29. 10	平成 28 年度及び平成 29 年度上半期・魚病診断状況	平成 29 年度(第 19 回)西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	中村行延	水産増殖部
H29. 10	ヒラメ種苗生産期に発生したビルナウイルス病	平成 29 年度(第 19 回)西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	中村行延	水産増殖部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 10	スズキの異常個体が長期間河口に蟄集していた事例	平成 29 年度 (第 19 回) 西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	中村行延	水産増殖部
H29. 4	ワカメ種苗生産技術研修会	南淡路漁協ワカメ生産者	二羽恭介	水産増殖部
H29. 6	国立研究開発法人科学技術振興機構の「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」の指定校特別講義「ノリの不思議な生態と遺伝現象」	兵庫県立星陵高等学校 生命科学類型 2 年生	二羽恭介	水産増殖部
H29. 8	野生ノリの色素変異株作出に関する研究	平成 29 年度研究結果報告会 (一般財団法人海苔増殖振興会)	二羽恭介	水産増殖部
H29. 9	全国のノリ養殖漁場が抱える問題について	平成 29 年度兵庫県のり養殖技術研修会	二羽恭介	水産増殖部
H29. 9	温暖化に対応したワカメ種苗生産技術の開発と普及に向けて	平成 29 年度第 3 回農林水産技術総合センター月例報告会	二羽恭介	水産増殖部
H29. 12	育種研究に関する情報提供	平成 29 年度育種情報交換会・ブリ類養殖技術研究会合同会議	二羽恭介	水産増殖部
H29. 11	平成 29 年度漁期のこれまでの経過と育苗～本張り期の神戸市地先の漁場環境	神戸市のり協議会 平成 29 年度海苔養殖漁期前研修会	谷田圭亮	水産増殖部
H30. 1	平成 29 (2017) 年漁期 これまでの経過	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	谷田圭亮	水産増殖部
H29. 6	平成 28 年度試験研究結果及び平成 28 年度試験研究課題について	第 319 回兵庫県内水面漁場管理委員協議会	増田恵一	内水面
H29. 6	魚病に関する情報交換	平成 29 年度全国養鱒技術協議会魚病対策研究部会	増田恵一	内水面
H29. 9	兵庫県内水面養殖における魚病診断件数の推移	第 31 回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	増田恵一	内水面
H30. 3	平成 29 年度のニジマス魚病発生状況について	平成 29 年度ニジマス魚病防疫講習会	増田恵一	内水面
H29. 7	平成 29 年度ベニズワイ資源調査結果と資源管理の方向性	平成 29 年度兵庫県ベニズワイいかにかご漁業協会通常総会	大谷徹也	但馬水技
H29. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	平成 29 年度ズワイガニ研究協議会	大谷徹也	但馬水技
H29. 8	平成 29 年度底びき漁期前調査結果	平成 29 年度底びき漁期前調査結果説明会	大谷徹也	但馬水技
H29. 9	平成 28 年漁期のアカガレイ漁況と資源調査結果の概要・平成 28 年漁期のズワイガニ漁況と調査結果の概要	平成 29 年度あかがれい・ずわいがかに広域資源管理検討協議会	大谷徹也	但馬水技
H29. 7	日本海におけるスルメイカ等の資源動向及び漁獲動向	平成 29 年度但馬地区漁青連グループリーダー夏期研修会	鈴木雅巳	但馬水技

(5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 6	今漁期の問題点と今後の対応 (瀬戸内地区)	海苔タイムス 2243 号	谷田圭亮	水産増殖部
H29. 10	来たる漁期の生産対策 (瀬戸内地区)	海苔タイムス 2257 号	谷田圭亮	水産増殖部

(6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	長濱達章	水産環境部
漁場環境情報	12	原田和弘・宮原一隆	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 (播磨灘)	7	西川哲也	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 (大阪湾・紀伊水道)	3	魚住香織	水産環境部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	西川哲也・魚住香織	水産環境部
イカナゴシンコ漁況予報	1	西川哲也・魚住香織	水産環境部
水温観測情報	47	内田健二	水産環境部
貝毒情報	24	宮原一隆・内田健二	水産環境部
赤潮情報	12	宮原一隆・小田垣寧	水産環境部
ノリ養殖環境速報(播磨灘)	16	原田和弘・宮原一隆・大石賢哉・のり研究所	水産環境部・のり研究所
ノリ養殖環境速報(大阪湾)	6	谷田圭亮・二羽恭介・大石賢哉・のり研究所	水産増殖部・水産環境部・のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・宮原一隆	水産増殖部・水産環境部
但馬水産技術センターだより			
海況情報	28	鈴木雅巳	但馬水技
漁況情報	15	鈴木雅巳・大谷徹也	但馬水技
貝毒情報	3	鈴木雅巳・肥後翔太	但馬水技・但馬水産事務所
漁況速報	52	鈴木雅巳	但馬水技
イカ漁況日報	140	鈴木雅巳	但馬水技

(7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 12	栄養塩類の管理方策と豊かな漁業生産	海洋と生物 233	反田 實・樋口和弘	水技センター・JF 兵庫漁連

(8) 技術書籍等

なし。

(9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 9	ワカメ種苗の自家生産を普及	神戸新聞	二羽恭介	水産増殖部
H29. 5	海の天気図 浜だより～底曳網漁業終了と沿岸漁業盛漁期～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H29. 8	海の天気図 浜だより～ソデイカの漁模様～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H29. 11	海の天気図 浜だより～ズワイガニ漁の解禁～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
H30. 2	海の天気図 浜だより～2017年の漁期とりまとめ(速報値)～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技

(10) テレビ・ラジオ

なし。

(11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
H29. 9	私の試験研究 低コストで溪流魚を増やすための技術開発	兵庫県立農林水産技術総合センター	増田恵一	内水面
H30. 2	私の試験研究 マダイの「活け」出荷技術	兵庫県立農林水産技術総合センター	鈴木雅巳	但馬水技
H30. 3	センター雑感 さかな屋さんのひとりごと 「よく似てるけど実は別もの（イカ編）」	兵庫県立農林水産技術総合センター	森 俊郎	但馬水技

3 見学会及び研究発表会

(1) 見学会

ア 日 時

平成 29 年 8 月 8 日 9 時 30 分～12 時

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター

ウ 内 容

顕微鏡観察、魚拓製作、煮干しの解剖、魚とのふれあいプール、施設見学等

(2) 研究発表会

ア 日 時

平成 29 年 8 月 8 日 14 時～16 時 15 分

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター

ウ 課 題

水産技術センターの業務と近年の主な研究成果

(発表者：水産技術センター水産環境部専門技術員 大石賢哉)

浜のかあちゃんの「はたるいかつくだ煮」を商品化

(発表者：浜坂漁業協同組合女性部 川越しのぶ)

但馬沖のズワイガニ、アカガレイ保護育成礁で桁網の操業にチャレンジ

(発表者：但馬水産技術センター主席研究員 岡本繁好)

外殻の色や形に着目したマガキの集団選抜育種

(発表者：水産技術センター水産増殖部主席研究員 谷田圭亮)

温暖化に対応したワカメの種苗づくり～種苗不足の解消に向けた取り組み～

(発表者：水産技術センター水産増殖部主席研究員 二羽恭介)

4 特許・実用新案出願・登録状況

【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
H10. 7. 17 H11. 2. 24		H11. 3. 16 H20. 3. 6		ホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置	H12. 9. 26 出願公開 H18. 2. 21 審査請求
H11. 8. 9 H11. 10. 26		H11. 8. 9 H19. 12. 14		軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法	H13. 2. 20 出願公開 H18. 8. 4 審査請求
H13. 12. 25 H14. 6. 10		H13. 7. 16		灰干しわかめ用の疑似灰	H14. 11. 5 出願公開 H20. 7. 17 審査請求 取り下げ

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H17. 1. 21 H17. 2. 25		H18. 5. 18 H23. 12. 2	水産加工残さを用いた漁業用餌料の製造方法	H19. 11. 29 出願公開 H20. 3. 9 審査請求
	H21. 4. 3 H21. 5. 18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	H21. 11. 30 出願公表
	H22. 10. 22 H22. 10. 25		H23. 1. 31 H25. 7. 12	バラ干し海苔の製造方法	H23. 2. 21 審査請求 H24. 8. 24 特許公開
	H27. 4. 13 H27. 5. 20		H27. 10. 15	カキの採苗器	

発明（出願特許）の概要

発 明 の 名 称	発 明 の 概 要
ホタルイカの眼球除去具 及びこれを用いた眼球除 去装置	ホタルイカの眼球を能率良く除去することができるホタルイカの眼球除去具及びこれを用いた眼球除去装置を提供する。 閉脚状態から開脚状態に弾性的に変形可能な双脚分の先端に、ホタルイカの頭部に押しつける押圧部を設けた。押圧部をホタルイカの頭部に押しつけることにより、当該頭部から1対の眼球を押し出し、この押し出した眼球を双脚分の開脚に伴って頭部から切り離す。
軟弱魚の冷凍保存方法及 びこれを用いた佃煮の製 造方法	解凍時に腹切れや身崩れなどの品質低下を起こし難い軟弱魚の冷凍保存方法及びこれを用いた佃煮の製造方法を提供する。 軟弱魚に有機酸塩と糖類を含浸させた後、当該軟弱魚を冷凍する。この冷凍された軟弱魚を自然解凍した後、糖分を含む調味液に入れて煮熟する。
灰干しわかめ用の疑似灰	従来の木灰に比べて全く遜色のない性状を有する灰干しわかめ用の疑似灰を提供する。 粉炭からなる黒色粉末と、穀類、根菜類、セルロース、カルシウム及び不溶性鉱物性物質から選択される1種または2種以上からなる白色粉末と、アルカリ剤とを混合して、灰色にてアルカリ性を示す粉末とした。
水産加工残さを用いた漁 業用餌料の製造方法	水産加工場から排出される加工残さを加熱・破碎・濃縮・成型し、低コストで漁業用餌料にする処理方法を提供する。 数種類の水産加工残さを一定の割合で混合して加熱・破碎・濃縮し、水分活性を調整することで保存性を高めるとともに、混合割合と水分量を調整し残さだけで成型できることを特徴とする水産加工残さの有効利用方法と漁業用餌料の製造方法。
養殖ノリ「ひょうごはりま 薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。
バラ干し海苔の製造方法	バラ干し海苔の色の見た目の色の改善を図り、長期間冷凍保存をしても品質や鮮度が劣化しないバラ干し海苔の製造方法を提供する。 バラ干し海苔の製造方法は、採集した原藻を熱湯に浸漬し湯引かせる湯引き工程、次に、脱水工程、その後、乾燥工程、から成る。これに加えて、原藻を湯引き後に凍結保存を行うことにより、原料として長期保存が可能となり、時期・量を問わずバラ干し海苔を供給できる。本バラ干し海苔の製造方法によれば、バラ干し海苔の保存性や風味を向上できる。
カキの採苗器	本県で開発したアサリの中間育成カゴのフタの裏側に著しく天然カキが付着することに着眼し、フタとメッシュの部分を取り出したもの。メッシュ状の開口部を有するプラスチック製の板とメッシュシートの組み合わせによって形成される空間において、侵入してきた浮遊幼生が主にプラスチック製の板に付着する現象が確認できた。この板はポリエチレン製で、目合い1cmのメッシュとなっており、容易に変形することができるため、付着したカキ種苗を剥離することが容易で、シングルシードカキとしての種苗化が可能である。また、プラスチック製の板とメッシュシートで形成された幅の狭い場所で付着することで、甲殻類や魚類による食害も防止できる利点がある。

5 学位・表彰等

なし。

6 研究員の派遣

なし。

7 研修生・見学者の受け入れ

(1) 一般研修生の受け入れ

氏 名	所 属	研 修 課 題	期 間	受け入れ部門
長良川漁業協同組合 17名		視察研修	H29. 10. 26 (1 日間)	内水面
大阪府内水面連絡協 議会 22 名		視察研修	H29. 11. 16 (1 日間)	内水面

(2) トライやるウィーク体験事業

氏 名	研 修 課 題	期 間	受け入れ部門
錦城中学校、朝霧中学校、大蔵中学校、 野々池中学校、高丘中学校、江井島中 学校、魚住東中学校、二見中学校各 1 名 計 8 名	マガキの採卵、藻類培養実験、プランクト ンの検鏡、生物展示、魚の測定、水質環境 調査ほか	H29. 6. 5～6. 9 (5 日間)	水産環境部、水産増殖 部
青垣中学校 2 名	魚解剖、魚ペーパークラフト製作	H29. 6. 8 (1 日間)	内水面
香住第一中学校 2 名	生物測定、加工試験、サザエ選別・給餌、イ ワガキ測定・洗浄作業、ベニかご調査機装 準備作業	H29. 5. 29～6. 2 (5 日間)	但馬水技、北部農業・ 加工流通部
浜坂中学校 5 名 (浜坂漁協との共同)	イワガキ測定・洗浄作業	H29. 6. 1 (1 日間)	但馬水技

(3) 受託研修・国際交流課からの依頼による研修の受け入れ

なし。

(4) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H29. 4	8	68	0	21	0	47
5	9	670	68	590	0	12
6	8	369	148	164	38	19
7	6	312	0	179	0	133
8	29	347	39	59	14	235
9	15	960	204	698	21	37
10	21	1,416	0	1,345	0	71
11	17	1,091	0	881	0	210
12	6	452	0	382	0	70
H30. 1	3	80	0	60	14	6
2	3	84	49	0	24	11
3	2	24	0	0	24	0
合計	127	5,873	508	4,379	135	851

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H29. 4	38	68	33	6	1	28
5	39	103	9	20	3	71
6	32	133	2	94	18	19
7	30	242	0	120	10	112
8	39	101	0	1	3	97
9	18	27	0	0	9	18
10	34	132	55	33	6	38
11	46	103	22	23	12	46
12	33	67	0	0	2	65
H30. 1	18	24	1	0	0	23
2	39	60	0	0	3	57
3	35	46	0	0	4	42
合計	401	1,106	122	297	71	616

【但馬水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H29. 4	0	0	0	0	0	0
5	5	105	0	95	0	10
6	3	13	3	10	0	0
7	2	25	0	15	10	0
8	4	75	45	0	0	30
9	2	53	0	28	0	25
10	1	20	0	0	0	20
11	1	20	0	0	0	20
12	0	0	0	0	0	0
H30. 1	1	15	15	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	19	326	63	148	10	105

【但馬水産技術センター】

(北部農業技術センター農業・加工流通部 担当分)

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H29. 4	6	6	6	0	0	0
5	4	9	7	2	0	0
6	10	12	9	0	0	3
7	4	4	4	0	0	0
8	8	9	9	0	0	0
9	3	9	9	0	0	0
10	2	3	3	0	0	0
11	3	3	3	0	0	0
12	7	7	4	0	0	3
H30. 1	2	2	2	0	0	0
2	2	4	4	0	0	0
3	1	2	2	0	0	0
合計	52	70	62	2	0	6

(加工相談のうち来訪、研修分)

8 資格・認定研修への講師派遣

なし。

9 その他（出版物等）

なし。